

**西条市ウイングサポートセンターの現状と今後の展望は？**  
(自民クラブ)

**問** 利用者から好評を得ている西条市ウイングサポートセンターの利用状況と今後の展望及び市民に対する広報の取組について問う。

また、市内西部地域への同センター開設の見通しについて問う。

**答** 西条市ウイングサポートセンターでは、平成23年11月の開所後、1年間で延べ1千446件の相談があり（来所相談が876件、出かける相談が570件）、小・中学校及び就学前の子どもを対象とした相談が大半を占めている状況である。

広報の取組については、開所時に学校など関係機関に啓発用リーフレットを配布するとともに、公民館、医療機関、商工会議所などでポスターの掲示を行った。また、市報や市のホームページなどを活用した情報提供や、学校など関係機関へのウイングサポートセンターだよりの配布などにより、活動内容の周

知を図っている。今後も相談の増加が予想されることから、相談体制の充実を図り、相談者の心に寄り添う相談を続けるとともに、市民への啓発や活動内容の周知、研修にも努めたい。

西部地域への開設については、同センターが発足して1年余りで、相談体制や関係諸機関との連携がじゅうぶんに確立していない状況であり、市民からより信頼される機関にするため、専門家の人材配置も含めたセンターの機能及び内容の充実を図りながら西部地域への開設についても検討していきたい。



ウイングサポートセンター

**水道事業の進捗状況と料金統一の時期は？**  
(自民クラブ)

**問** 合併前に策定された新市建設計画の中で、上水道は「市町ごとに分かれている事業の連携により域内での一体性・効率性を高める」と記されている。また、合併協議会では水道事業と水道料金を当分の間は現行どおりとし、随時調整するとされていたが、現在までの水道事業の進捗状況及び水道料金の統一の時期について問う。

水道事業の実施に当たっては、平成22年度に西条市水道ビジョンを策定し、東部地区上水道整備事業や東予地区緊急時給水拠点確保等事業、各地区における老朽管布設替事業、災害等緊急時における安全管理として濁度計・流量計等監視設備の新設・更新事業、仮設発電機設備事業などを実施し、安全で安心な水の安定供給、健全経営に取り組んでいるところである。

水道料金の統一については、平成21年8月に西条市使用料等審議会を設置し、審議をした中

で料金統一などに賛同する答申を受けたが改定には至っておらず、現行のままとなっている。行政の一体性や使用者負担の公平性の観点からも水道料金の統一を図り、地域間格差の是正を行っていくことは必要であると考えており、さまざまな機会を捉え、市民の理解をいただけるよう世論の醸成に努めながら、合併10周年となる平成26年を目途に取り組んでいきたい。

**市の婚活支援の取組の現状は？**  
(自民クラブ)

**問** 少子化対策という行政課題に対し、近年は独身男女の結婚活動、いわゆる「婚活」支援のための取組が全国の自治体で広がっている。

本市でも、結婚意欲を持った若者の出会いの場の提供や、イベントの参加に対する補助など、積極的な支援が必要であると考えられるがどうか。

**答** 少子化問題の一因として未婚化や晩婚化への関心が高まり、その対策として「婚活」という名の下に、出会い事



西条商工会館内にあるえひめ結婚活動支援センター

業や結婚支援事業などが全国各地で行われている。愛媛県でも、えひめ結婚活動支援センターが工夫を凝らしたイベントなどを開催し、参加者の中から多くのカップルが結婚に至っている。本市としても、同支援センターへの紹介を行うとともに、市内でイベントが開催される場合には、イベントの周知や開催への協力を行っている。しかし、急激に進展している少子化は、消費人口や労働人口の減少を招き、社会・経済に与える影響も大きく、現在の社会構造を維持するためには、未婚化・晩婚化への対応が不可欠である。このため、今後は出会いの場の提供やマッチングなど、市独自の婚活事業を検討したいと考えている。